



# 水のひびき

## 第29回坂戸市消防団消防ポンプ車操法大会開催



出番を待つ団員達です。

平成28年6月26日(日)川崎陸送(株)坂戸流通センター駐車場にて、第29回坂戸市消防団ポンプ車操法大会が開催されました。団員は2年に1度行われるこの大会に向けて、早朝や夜間の厳しい練習を重ね本番に臨みました。

大会は、日頃の訓練により培った操法技術を「消防操法の基準」に定められた要領に従い、各消防団が、いかに早くかつ正確に放水を行うかを競うものであり、消防団員の消防技術の向上と、士気の高揚を図るとともに、消防団活動の充実発展に寄与することを目的としています。

競技は消防車を使用し、指揮者、1～4番員、補助員の計6人で行います。ホース延長や放水、器具操作などそれぞれの役割が細かく決められており「正確」「迅速」「団結」して操法を行った団体が高得点を得ることができます。

今大会初めて出場する団員も、数多く経験しているベテラン団員も、大会当日は皆緊張している様子でした。待機しているポンプ車の周りでは、念入りに動きの確認をしている者や声出しをしている隊など、選手だけでなく見てのこちらまで緊張感が伝わってきました。

出番を終えた団員の中には練習の成果を出せず悔しがる者、全てを出し切れた充実感で涙する者もいました。訓練を通じて得た体力、精神力は今後の消防団活動において必ず活かされることと思います。この操法大会で経験した数多くのことを次世代に伝えていきたいです。

(文・三芳野 1 鎌田 高弘)



1本目の放水開始合図です。



2本目のホース延長中です。



2つの火点に向け放水中です。

### 優勝(大会四連覇)

#### 入西分団第1部

#### 指揮者 木下潤一さん

今回、厳しい戦いを制し優勝を成し遂げたのは入西分団第1部でした。

大会史上初の4連覇という偉大な成績がかかっていたため、大会初出場の団員もいる中で、初日の練習から、かなりの重圧が部員達の間にありました。そのため、様々なトラブルもありましたが、毎回の練習には多くの消防団OBの方々が応援に駆け付け具体的な指導等で私達部員を支えていただきました。

3月から早朝の出勤前に週3回の訓練を実施し、例年にも増して

### 三番員個人賞

#### 三芳野分団第3部

#### 辻貴之さん

総勢80名が出場した操法大会において、動作の正確さや敏捷性、更にスタミナが必要とされる3番員で個人賞に輝いたのは三芳野分団第3部の辻貴之さんでした。

個人賞が発表された時は、信じられない気持ちと同時に、サポートをしてくれた方々への感謝の気持ちで一杯になったそうです。

地元の先輩にロクコンンされて入った消防団でしたが、こんなにも楽しく熱くなれるとは思っていませんでした。操法大会に向けての訓練は、仕事との両立が大変でしたが、大会を通じて、さらに部

部員13人が一丸となって臨む事ができました。

「このような環境で操法ができることは幸せなことです。今後も次世代に伝承すべく、日々の消防団活動に取り組んでまいります。」と熱く語ってくれました。

(文・坂戸1 原口 智行)



の絆が深まりました。

指導してくれた諸先輩方、部の仲間、そして消防団活動を理解し、全面的にサポートしてくれた家族にとっても感謝しています。

そして、次回の大会は優勝を目指して、さらに部が一丸となって頑張っていきたいです!と力強く語ってくれました。

(文・入西1 梶田 貴志)



# 坂戸市消防団新入団員募集

問い合わせ先 坂戸・鶴ヶ島消防組合庶務課  
電話 281-3118 内線234



搭載されている主な資機材  
・エンジンカッター・チェーンソー  
・油圧カッター ・ハンドウィンチ  
・バルーン投光器

(文・勝呂2 石川 達也)

勝呂分団の団員は、新たな活躍の場が出来ることに戸惑いつつも機器を取り囲む姿勢には、やる気を感じられ、非常時の緊張感を持った訓練となりました。今回の訓練の翌月に、熊本地震が発生しました。現地では、倒壊家屋から住民を救出した地元消防団の活躍が目覚ましかつたと聞きます。災害はいつ起こるか分からず、このような訓練を日々行うことで、防災力の向上を図り災害現場で頼りにされる消防団員になれるよう、日々努めていきたいです。



平成27年度末、勝呂2部に「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」という、県内でも数少ない特別な車両が配備され、平成28年3月6日(日)勝呂分団、多機能部隊による合同訓練を行いました。訓練内容については、多機能部隊の指導の下、新車の両に搭載されている資機材等の操作方法を、実際に使用し学びました。



坂戸市消防団広報委員会は、各分団の有志が集まり、平成21年4月に発足しました。

この委員会は、広報活動を通じて消防団の存在意義を団員と家族と地域が共有し、地域はもとより全国に坂戸市消防団を発信することを目的としています。また、地域の防災意識の向上や消防団活動への理解を深めてもらう役割も担っています。

現在、広報委員会はホームページ班と広報誌班に分かれ、計15名のメンバーで活動を行っています。

ホームページ班は、月に1回ホームページを更新し、常に最新の情報を発信しています。また、広報誌班は半年に1度広報誌「水のひびき」を発行し、多くの方に見てもらえるよう、行政機関や地域の教育施設などにも配布しています。

発足以来少しずつ積み重ねてきた広報活動により、坂戸市消防団の活動が広く知られるようになってきました。坂戸市消防団の発展のために、広報委員会はこれからも様々な情報を発信していきます。

(文・勝呂3 山下 章吾)

## 坂戸市消防団 広報委員会

平成28年4月9日(土)長野県須坂市より、成田団長以下17名が、幹部研修2日目の研修地として、坂戸・鶴ヶ島消防組合坂戸消防署に来署し、大澤副団長以下9名の幹部団員達が迎えました。

本研修会では、両団の組織説明を行った後、坂戸市内で平成11年8月に発生した、洪水災害等の対策や取組について話し合い、消防団全体を通しての問題意識の共有を図ることができました。

また、須坂市では、坂戸市と同じように、「消防団員による広報誌作り」が行われているということもあり、喫緊の広報活動の難しさや課題等、お互いが作成した紙面を見せ合い、熱い議論を交わすことができました。

短い時間ではありましたが、他県の消防団と意見交換ができたことは、大変刺激になり、消防団員として良い経験になりました。また、私達消防団広報委員としても、このような情報交換の機会を持てた事は非常に有意義で今後の広報活動の参考になりました。

(文・勝呂2 石川 達也)



## 長野県須坂市消防団来署

## 今回は、おかげさまでいっしょ!

撮影・女性部 和田 素実

### 女性部

佐藤 位子 部長  
哲雄さん  
成子さん  
大熙さん



### 女性部

小寺 恭子 班長  
駿さん  
僚さん  
岳さん



坂戸市消防団の twitter

[https://twitter.com/syobodan\\_sakado](https://twitter.com/syobodan_sakado)



facebook はじめました。



<https://ja-jp.facebook.com/sakado.hikesi/>

